

# 音楽科学習指導案

## 【題材】詩と音楽の関わりを味わおう（『花』『ふるさと』）

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<b>育成を目指す資質能力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と歌詞や声の種類（男声・女声・混声）との関わりについての理解。 A(1)イ</li> <li>・全体の響きを聴きながら声を重ねて歌う技能 A(1)ウ(ウ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞から情景を思い浮かべ、表現したい曲想に合った発声の仕方や音色について思いや意図をもつ力 A(1)ア</li> <li>・曲想と歌詞の内容との関わりや声の種類による発声や音色の違いのよさを見だし、全体を味わいながら聴く力 B(1)ア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と歌詞や声の種類との関わりに興味・関心を持ち、進んで友達と声を合わせて歌おうとしている。</li> </ul>
<b>児童の実態</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想に歌詞や声の響きが関わっていることに気づき、声を合わせて歌ってきている。</li> <li>・声の種類による曲想の違いを学習することは初めてである。複数の旋律を重ねて歌うことに、苦手意識をもつ子どももいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したい曲想に合った発声の仕方や音色について思いや意図をもつことができるようになってきている。また、歌詞に合う歌い方の違いを味わいながら聴いたことがある。</li> <li>・声の種類と曲想を結び付けて、味わいながら聴く経験や、それらを基にして、表現したい曲想に合った発声の仕方や音色について思いや意図をもつ経験は初めてである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表現したい曲想と歌詞の関わりに興味・関心をもって、友達と声を合わせて楽しく歌ってきている。</li> <li>・友達の前で歌うことに苦手意識をもっている児童もいる。</li> </ul>
<b>価値</b>	<p>歌唱曲において歌詞は、曲想を生み出す大事な要素となる。『花』は、春の花盛りの情景を、『ふるさと』は、情景だけでなく、ふるさと思ふ人の思いを、歌詞から想像することができる。また、男声のもつ力強さ、女声のもつ繊細さ、それらを合わせた混声の奥深さを比較しながら鑑賞したり歌ったりすることは、声の種類によって生まれる曲想の違いを実感することができる。これらの実感が、一人一人のイメージや感情に合う歌詞や声の種類を生かして、聴いたり表現したりすることにつながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞についての調べ学習をすることは、言葉の意味を自分のイメージや感情・経験と結び付けることにつながるため、曲想と歌詞との関わりについて理解することができる。</li> <li>・少人数のグループで試唱することは、自分の声と友達の声の響きを聴き合いながら何度も歌うことができるため、全体の聴きながら声を重ねて歌う技能を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jamboardを用いて、歌い方の工夫を声の種類ごとに共同で考えていくことは、曲想と声の種類を結び付けながら表現の工夫を考えることができるため、声の種類を基に発声の仕方や音色について思いや意図をもつことができる。</li> <li>・1つの曲を男声・女声・混声合唱で比較鑑賞することは、曲想と声の種類による響きの違いとの関わりに気づくことにつながり、それぞれのよさを味わいながら聴くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表現したい声の種類で歌うことは、自分自身の声や、声と曲想との関わりに興味・関心をもつことにつながる。また、同じ声の種類に興味・関心をもつ子ども同士で少人数のグループを組むため、歌うことに苦手意識をもつ児童も安心して歌うことができる。</li> </ul>
<b>見方・考え</b>	<p>「音楽に対する感性を働かせ、『花』や『ふるさと』の曲を歌詞や声の種類とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、経験と関連付けて歌い方を考えること</p>		
<b>今後の学習</b>	<p>6年「音楽で思いを伝えよう」において、歌詞や音の重なり合う響きの特徴から、曲に込められた思いを想像し、曲想に合った歌い方や奏法で、思いを込めて歌ったり演奏したりする学習へと発展していく。</p>		

## 指導と評価の計画

目標	曲想に合う発声の仕方や音色を工夫して声を重ねて歌ったり、曲想と歌詞や声の種類との関わりに気づき、全体を味わいながら聴いたりする。			
評価 規準	(①知・技) 曲想と歌詞や声の種類との関わりについて理解し、全体の響きを聴きながら声を重ねて歌っている。 (②思・判・表) 歌詞から情景を思い浮かべ、表現したい曲想に合った発声の仕方や音色について思いや意図をもったり、曲想と歌詞との関わりや声の種類による発声や音色の違いのよさに気づき、全体を味わいながら聴いたりしている。 (③主体的態度) 曲想と歌詞や声の種類との関わりに興味・関心をもち、進んで友達と声を合わせて歌おうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○『花』を鑑賞する。	○『花』の曲想と詩や声の特徴との関係に、比較鑑賞しながら気付けるように、男声・女声・混声の合唱音源を用意する。	◇男声・女声・混声合唱の声の種類の違いによる曲想の変化に関心をもち、それぞれの曲想の違いについて発言している。 <発言③>
	1	○声の種類が違う『花』を聴き、学習のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">学習のめあて：曲想や詩と声の響きとの関わりを生かして歌おう。</div>	○曲想と歌詞や声の特徴との関わりを比較しながら聴くことができるように、自分のお気に入りの声の種類合唱について、よさを紹介し合う機会を設定する。	◇男声・女声・混声合唱の声の特徴を曲想や歌詞と結び付けて発言したり記述したりしている。 <発言・Jamboard②>
追求する	1	○『ふるさと』を聴いたり、歌詞の内容を調べたりする。	○『ふるさと』の情景や時代背景を想像できるように、歌詞の内容について調べる時間を設定する。	◇歌詞に関心をもち、情景や時代背景について調べて画像を集めたり文で記述したりしている。 <ロイロノート③>
	家庭	○家の人に『ふるさと』の曲の印象や、実際の故郷についてインタビューする。		
	2	○『ふるさと』の主旋律や副旋律を歌う。	○正しい音で歌えるように、それぞれの旋律を録音した音源を用意する。	◇友達の音を聴きながら、正しい音で旋律を歌っている。 <歌唱①>
	2	○『ふるさと』の曲想に合う歌い方を考える。 (本時1/2)	○それぞれの工夫を共有しながら考えたり試しに歌ったりできるように、グループごとに共同作業ができる楽譜をJamboard上に用意する。	◇曲想と歌詞との関わりを基に歌い方の工夫を考えてJamboardの楽譜に記述したり、試しに歌ったりしている。 <歌唱・Jamboard②>
ま 生と かめ する	1	○『ふるさと』をグループごとに発表する。	○曲想や歌詞に合わせて歌い方を工夫したことを実感できるように、発表後に感じたことやよいと思ったことを伝え合う機会を設定する。	◇曲想や歌詞と自分たちが考えた歌い方の工夫を結び付けながら、進んで歌を発表したり、友達の歌のよいところを見付けながら聴いたりしている。 <歌唱・ロイロノート①②③>

**本時の学習（6／8時間目）**

ねらい 『ふるさと』の歌詞やインタビューして想像した情景や思いを基に、曲想に合う歌い方の工夫を考え友達と伝え合う活動を通して、曲想を表すための思いや意図をもち、工夫して歌うことができる。

評価項目 曲想や歌詞から歌い方の工夫を考えてJamboardの楽譜に記述したり、試しに歌ったりしている。 <表現・Jamboard②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p><b>1 本時のめあてをつかむ。</b></p> <p>・（目的意識）『ふるさと』は、おばあちゃんにとって大事な場所だと言ってたよ。懐かしい感じや温かい気持ちになると言っていた友達もいたな。私たちのグループは大事で懐かしい故郷の様子を歌で表したいな。</p>	<p>○自分のイメージや感情、家庭で調べてきたふるさとについての経験を基に、曲想に合う歌い方を考えるという見通しをもてるように、全員で歌唱した後に、グループごとに表したい曲想を問いかける。</p>
<p>めあて：『ふるさと』の1番の曲想に合う歌い方を、グループで試しに歌いながら考えよう。</p>	
<p><b>2 『ふるさと』の曲想に合う音楽表現の工夫をグループで考える。</b></p> <p>・1番の歌詞にある「うさぎ追いし」や「小ぶなつりし」は楽しく遊んでいる感じがするから、楽しそうに歌ったらどうかな。</p> <p>・友達は「うさぎ～かの川」のところの歌詞を、懐かしく思い出している感じがするから、温かい声で歌う感じがいいのではと書いているな。楽しそうに歌う感じと、温かく歌う感じのどちらもよさそうだな。</p> <p>・歌ってみたら、どちらもよかったけど、自分たちが目指す懐かしい感じに合っているのは温かい声で歌う方だな。</p> <p>・1番を通して歌ってみたけれど、おばあちゃんが言っていたような大事な場所っていうイメージを表せていない気がするな。私は、大事だから忘れたくないという強い思いが「忘れがたき」に込められていると思うけど、友達はどう思っているのだろう。</p> <p>・違うグループの演奏を聴いたら、「忘れがたきふるさと」は遠くに来て寂しいんだけど、思い出して温かい気持ちになるから優しく歌っていたよ。自分のイメージとは違ったけど、その歌い方も分かるな。</p> <p>・大事な場所だから、忘れたくない強い思いだけど、思い出して温かい感じになるように、声は大きく優しい感じで歌ってみたらどうだろうか。</p> <p>・（目的を達成した意識）『ふるさと』の懐かしさや思い出して温かい気持ちになる感じは、歌詞から情景を思い浮かべて、優しい歌い方をしたり強弱を工夫したりするとよいのだな。</p>	<p>○歌詞の内容から思い浮かべた情景や思いと歌い方の工夫を結び付けられるように、Jamboardの楽譜や歌詞の周りに思い付いたアイデアを記述するよう促す。</p> <p>○グループの表したい曲想に合う工夫に対するアイデアを広げていけるように、友達のアイデアと自分のアイデアを比較したりつなげ合わせたりするよう助言する。</p> <p>○グループの表したい曲想に合う歌い方の工夫を見付けられるように、Jamboardに記されたアイデアを試しに歌ってみて、気付いたことを伝え合うよう促す。</p> <p>○曲想と自分のイメージや感情、経験とを結び付けて歌い方を考えられるように、自分が調べたことや家庭で故郷についてインタビューしたこと、歌い方の関わりについて問いかける。</p> <p>○違うグループの工夫を自分たちの歌い方に生かせるように、2～3グループに表したい曲想と考えた歌い方を発表するよう促す。</p> <p>○友達のグループの歌い方の工夫を、自分たちのグループの歌い方に生かせるように、発表したグループのよいところや、自分たちのグループの考えと似ているところを問いかける。</p> <p>○『ふるさと』の1番の曲想を表すために考えた工夫を振り返ることができるよう、歌い方の工夫が書かれたJamboardを見ながら歌うよう促す。</p>
<p><b>3 本時の学習の振り返りをする。</b></p> <p>・歌詞から情景や思いを想像しながら1番の曲想に合う歌い方を考えたり歌ったりできたよ。次は、2番と3番も考えていきたいな。</p>	<p>○曲想に合わせて歌い方を工夫できたことを実感し、次時への見通しをもてるように、1番を試唱しながら様々なアイデアを出せたことを称賛する。</p>